

★学年末考査を終えて

2月25日(火)から27日(木)まで学年末考査を実施しました。1学年の締めくりである学年末考査でもあり、計画を立てて学習に取り組む生徒が多かったです。また、提出物についても、早めに終わらせて何回も復習をするなど、学習方法に工夫が見られました。また、テスト中には解き終わったら、何回も見直してケアレスミスがないか確認するなど、テストの受け方にも一段と成長が見られました。

定期考査の返却をしていると、生徒の中から「平均点より高かったから良かった。」「平均点より低かったから良くなかった」という言葉をよく聞きます。平均点は、その学年やクラスの特徴を表す点数であり、周りの生徒と自分の点数を比較するには参考になる数字です。

一方で、教員目線から考えると、学校では評価・評定をつける際には次のようになります。

- ・90%以上…十分に満足できるもののうち、特に程度が高いもの
- ・80%以上…十分に満足できる
- ・50%以上…おおむね満足できる。

つまり、50%以上(学年末考査で考えると50点以上)であれば、学習内容がおおむね理解できていると考え、80%以上(学年末考査で考えると80点以上)であれば、学習内容は十分理解できていると考えます。

1学年の定期考査はこれで終わりですが、2学年になっても定期考査は続きます。平均点で周りの生徒と比べるのも1つの方法ですが、自分がどれだけ学習内容を理解できているかを考えることも大切です。これからも授業を大切に、学習内容が難しくなっても、理解できるように努力してほしいです。



【学年末考査の様子】

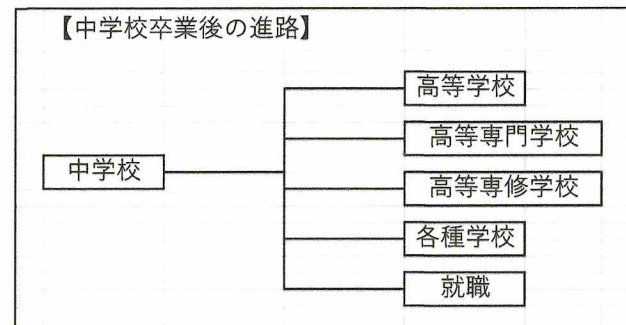
★上級学校に関する学習

2月14日(金)、21日(金)の総合の時間に、上級学校に関する学習を行いました。中学校を卒業したら高校に行こうと考えている人もいれば、そうではない進路を考えている人もいます。また、高校といっても色々な学校があります。今回は特に、都立高校に関する学習を行いました。学習したことは以下の内容です。

- ①課程の違いについて(全日制課程、定時制課程、通信制課程)
- ②学年制と単位制の違いについて
- ③都立高校のいろいろな学科について
- ④都立高校の選考方法について
- ⑤都立入試における調査書点と学力検査の得点の計算方法について

「高校に行くのはまだまだ先のこと・・・」だと考えている生徒もいましたが、中学校生活はあっという間に過ぎてしまいます。この学習を通して、「勉強は3年生になってから頑張ればいい」などと思わずに、今やるべきことをしっかりとできるようにしてほしいです。日々の積み重ねが、これからの成長につながっていきます。

中学校卒業後の進路は、保護者の方と相談しながら自分自身で決めていくものです。また、中学校卒業後の進路は、図のように様々です。ご家庭でも進路について、話題にしていたいただければと思います。



★今後の予定

| 日時 | 時程 | 予定 |
|---------|-------|--------------------|
| 3月3日(月) | 50分×6 | 全校朝会 スマホールル定着週間(始) |
| 3月4日(火) | 50分×6 | |
| 3月5日(水) | 50分×5 | 専門・中央委員会 |
| 3月6日(木) | 50分×6 | |
| 3月7日(金) | 50分×6 | スマホールル定着週間(終) |